

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

- ・地域経済を支える地方の港湾において、輸送コストの縮減、国内基幹産業への重要物資の安定供給や近年増加している外国クルーズ船の安全な受け入れに向けて、整備が完了した岸壁等を最大限に活用することが重要です。このためには防波堤の早期完成を図り、港内の静穏度を向上させる必要があります。
- ・また、港湾施設は、大規模地震時等における津波被害の軽減や、発災後救援・復旧物資輸送の確保に重要な役割を担っていることから、防波堤の粘り強い化を促進する必要があります。このような防災対策は、安全・安心を確保するための未来への投資と考えます。
- ・しかしながら、この事業を進めていくためには莫大な予算が必要であるため、予算の重点配分が不可欠です。

【政策提言の具体的内容】

地域経済を支えるとともに、防災拠点としても重要な役割を担う港湾においては、既存プロジェクトや大規模地震に備えた防災・減災事業を推進するために、以下の視点による重点投資が必要と考えます。

(1) 整備が完了した岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進

＜港内静穏度の確保＞

高知港（東第1防波堤、南防波堤、東第2防波堤）、宿毛湾港（池島第2防波堤）

(2) 大規模な地震・津波に対し、防災・減災効果を発揮する防波堤の粘り強い化（粘り強い構造への補強）の促進

＜防災・減災機能の強化＞

高知港（東第1防波堤、南防波堤）、須崎港（湾口西・東防波堤）
宿毛湾港（池島第1・第2防波堤）

【政策提言の理由】

- 港湾施設を最大限に活用するため、外国クルーズ船の積極的な誘致や国の支援のもと農林水産物の輸出促進に向けた取り組みを始めるなど、様々なソフト施策を展開しているところであるが、輸送コストの縮減、国内基幹産業への重要物資の安定供給や外国クルーズ船の安全な受け入れに向けて、岸壁の安定的な利用のための防波堤整備など継続した港湾整備が必要です。
- また、防波堤は、津波被害の軽減や、発災後の救援・復旧物資輸送の確保に重要な役割を担っていることから、防波堤の整備促進と粘り強い化を早急に講じる必要があります。
- しかしながら、この事業を進めていくためには莫大な予算が必要であるため、予算の重点配分をお願いするものです。